

[6] ボスニア・ヘルツェゴビナ

主要経済指標等 (2014年)

- 人口 382万人
- GNI 総額 182.39億ドル
- GNI 一人あたり 4,780ドル
- 経済成長率 1.2%
- 失業率 (2013年) 28.4%
- 対外債務残高 (2013年) 110.78億ドル
- 援助受取総額 (支出純額) (2013年) 5.50億ドル
- DAC分類 高中所得国
- 世界銀行分類 iii / 高中所得国

出典) WDI (世界銀行) 等。詳細は解説参照

表-1 我が国の対ボスニア・ヘルツェゴビナ援助形態別実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2010年度	-	1.43	1.83(1.79)
2011年度	-	1.08	1.58(1.30)
2012年度	-	3.44	1.49(1.29)
2013年度	-	4.90	3.06(2.82)
2014年度	-	7.89	4.00
累計	167.43	308.18	66.07(64.43)

※脚注参照

ミレニアム開発目標 (MDGs) 代表的な指標

	過去データ	最新データ
●目標1: 1日1.25ドル未満で生活する人々の割合	0.3%(2001)	0.0%(2007)
●目標2: 初等教育における純就学率	-	-
●目標3: 初等教育における男子生徒に対する女子生徒の比率 (男子を1とした時の女子の人数)	-	-
●目標4: 5歳未満児の死亡数 (1,000人あたり)	18.3人(1990)	6.6人(2013)
●目標5: 妊産婦の死亡数 (出生児10万人あたり)	19人(1990)	8人(2013)
●目標6: 15~49歳のHIV感染率 (100人あたりの年間新規感染者数の推定値)	-	-
●目標7: 改良飲料水源を継続して利用できる人口の割合	97.1%(1990)	99.9%(2015)

出典) Millennium Development Indicators (The Official United Nations Site for the MDG Indicators)

主要ドナーの対ボスニア・ヘルツェゴビナ経済協力実績 (2013年)

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

1位 ドイツ	42.58	2位 米国	38.97	3位 スウェーデン	30.58	4位 スイス	22.88	5位 オーストリア	22.71
---------------	-------	--------------	-------	------------------	-------	---------------	-------	------------------	-------

出典) OECD/DAC

ボスニア・ヘルツェゴビナに対する我が国ODA概要

1. 概要

我が国のボスニア・ヘルツェゴビナに対する経済協力は、1995年に開始された。これまでに基礎インフラ、農業、通信、運輸、医療、教育、地雷除去等の様々な分野において、無償資金協力、有償資金協力及び技術協力による支援を行ってきた。近年の経済発展にともない、現在は有償資金協力、技術協力及び草の根・人間の安全保障無償資金協力による支援を行っている。

2. 意義

歴史的な紛争を経験してきた西バルカン地域にある同国が、安定的な国家として発展することは、同地域のみならず、欧州地域全体の平和と安定にとっても重要である。特に、我が国による「平和構築」への取組は、我が国が民族的な利害関係を持たないことから、意義があるといえる。同国はEU加盟を最大の目標として、環境分野をはじめとする各分野において、EUが定める様々な基準の達成に取組んでおり、我が国の優れた技術と知見を活用した支援は有意義である。

3. 基本方針

社会の安定化と経済発展に向けた側面的支援: 同国の社会の安定と持続的な経済発展の支援と、同国のEU加盟に向けた努力への支援を基本方針とする。

4. 重点分野

- (1) 平和の定着・民族の和解: 複数のエンティティ・民族を対象とし、民間セクター開発や環境保全を支援するとともに、難民・避難民の帰還と地域の民族融和を促進するため、保健衛生、教育、地雷除去などの分野における草の根レベルの協力を行う。
- (2) 環境に配慮した持続可能な経済成長: これまで達成した経済成長を持続可能なものとするため、我が国の有する優れた技術と知見を可能な限り活用しつつ、大気汚染や水質汚染などの環境問題に対する取組の強化を支援していく。

※注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 2010年~2013年度の技術協力においては、日本全体の技術協力の実績であり、2014年度の日本全体の実績については集計中であるため、JICA実績のみを示している。
()内はJICAが実施している技術協力の実績及び累計となっている。

ボスニア・ヘルツェゴビナ

表-2 我が国の年度別・形態別実績詳細 (表-1 の詳細)

(単位: 億円)

年 度	円借款	無償資金協力	技術協力
2012年度	なし	3.44 億円 ・ノン・プロジェクト無償(1件)(2.00) ・草の根・人間の安全保障無償(10件) (1.44)	・ヘルツェゴビナ国際観光コリドー・環境保全プロジェクト [12.07~15.06]
2013年度	なし	4.90 億円 ・ノン・プロジェクト無償(1件)(3.00) ・草の根文化無償(1件) (0.10) ・草の根・人間の安全保障無償(12件) (1.80)	・西バルカン地域における中小企業メンターサービス構築・普及促進プロジェクト(広域) [13.04~16.03] ・地方開発を通じた信頼醸成プロジェクト [14.01~17.03]
2014年度	なし	7.89 億円 ・ノン・プロジェクト無償(2件)(7.00) ・草の根文化無償(1件) (0.29) ・草の根・人間の安全保障無償(7件) (0.60)	・総合高校におけるIT教育改善プロジェクト [14.09~16.08]
2014年度 までの累計	167.43 億円	308.18 億円	66.07 億円(64.43 億円) 研修員受入 706 人 専門家派遣 120 人

注) 1. 表-1 注釈同様

2. 技術協力においては、2012年度以降に開始され 2014年4月の時点で継続中の技術協力プロジェクト案件のみを掲載している。案件の [] 内は、協力期間。

表-3 我が国の対ボスニア・ヘルツェゴビナ援助形態別実績 (OECD/DAC 報告基準)

(支出純額ベース、単位：百万ドル)

暦年	有償資金協力	無償資金協力	技術協力	合計
2010年	-1.44	0.98	2.69	2.24
2011年	-1.53	1.36	1.93	1.76
2012年	-0.45	1.26	1.82	2.64
2013年	-0.40	3.95	2.98	6.53
2014年	-0.73	4.63	2.92	6.82
累計	28.98	261.05	61.52	351.55

出典) OECD/DAC

- 注) 1. 国際機関を通じた贈与については、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することとしている。
2. 有償資金協力及び無償資金協力は、これまでに交換公文で決定した約束額のうち当該暦年中に実際に供与された金額（有償資金協力については、ボスニア・ヘルツェゴビナ側の返済金額を差し引いた金額）。
3. 有償資金協力の累計は、為替レートの変動によりマイナスになることがある。
4. 技術協力は、JICAによるもののほか、関係省庁及び地方自治体による技術協力を含む。

表-4 主要ドナーの対ボスニア・ヘルツェゴビナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦年	1位		2位		3位		4位		5位		うち日本	合計
2009年	スペイン	36.87	スウェーデン	32.43	米国	31.07	オーストリア	28.59	ドイツ	27.63	6.39	285.39
2010年	オーストリア	31.49	ドイツ	29.95	米国	28.33	スウェーデン	28.02	韓国	25.14	3.77	253.01
2011年	米国	37.97	スペイン	37.46	ドイツ	33.86	スウェーデン	30.00	スイス	27.43	3.45	285.81
2012年	ドイツ	44.62	米国	38.48	スウェーデン	29.49	オーストリア	27.78	ノルウェー	19.34	4.32	221.05
2013年	ドイツ	42.58	米国	38.97	スウェーデン	30.58	スイス	22.88	オーストリア	22.71	7.91	206.72

出典) OECD/DAC

表-5 国際機関の対ボスニア・ヘルツェゴビナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦年	1位		2位		3位		4位		5位		その他	合計
2009年	EU Institutions	72.62	IDA	33.42	IFAD	4.76	OFID	2.55	UNHCR	2.49	2.79	118.63
2010年	IDA	115.20	EU Institutions	105.09	OSCE	17.94	GFATM	8.81	IFAD	3.67	10.12	260.83
2011年	EU Institutions	294.99	IDA	37.41	OSCE	18.48	GFATM	8.59	IFAD	2.73	5.83	368.03
2012年	EU Institutions	338.29	IDA	22.47	OSCE	16.40	GFATM	6.54	IFAD	3.42	5.55	392.67
2013年	EU Institutions	344.24	IDA	23.45	OSCE	14.97	GFATM	11.95	IFAD	2.42	6.78	403.81

出典) OECD/DAC

注) 順位は主要な国際機関についてのものを示している。

表-6 実施済および実施中の開発計画調査型技術協力案件 (開発調査案件を含む) (開始年度が2010年度以降のもの)

案件名	協力期間
産業廃棄物処理改善計画策定支援プロジェクト	13. 6~14. 5

出典) JICA

表-7 2014年度実施協力準備調査案件

案件名	協力期間
トゥズラ石炭火力発電事業準備調査 (PPP インフラ事業)	13. 8~14. 6

出典) JICA

表-8 2014年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件

案 件 名
シェコビチ市診療所救急車整備計画
シャマツ市診療所医療機材整備計画
ドボイ市診療所医療機材整備計画
ドマリェバツツ・シャマツ市診療所医療機材整備計画
マグライ市診療所医療機材整備計画
シャマツ小学校施設修復及び拡張計画
南ドボイ市ゴミ収集車整備計画

主なプロジェクト所在図 (2012年度—2014年度)

欧州地域

